

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	企画部
課室名	企画調整課

予算	款	項	目	決算書
	2	1	10	74 頁

目 名
交流促進費

事務事業名称
交流促進事業

1. 概要

目的	市民生活の潤いと文化、産業の振興	対象	市民
事業概要	○交流促進事業・・・(中国)・・・荊州区との相互訪問 (韓国)・・・益山市との相互訪問、機張郡との相互訪問 (台東区)・・・相互の交流 (雪舟サミット)・・・雪舟を通じた関係市町村との相互交流 (ふるさと大使)・・・APUの学生との交流		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	交流促進事業	・国際交流員の配置1名 ・ふるさと大使奨学金 報酬	12,534	8,801				8,801	3
計			12,534	8,801	0	0	0	8,801	

2. 指標設定

成果指標	指標名	交流事業参加人員	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	350人			総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-1-3)の重点施策に関連しているため			
活動指標	指標	a 国際交流事業参加人員	b	地域間交流事業参加人員	c		d	
	数値	目標 300人	目標	50人	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
交流事業参加人員	人	239 人	200 人	505 人
		68.3 %	57.1 %	144.3 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 国際交流事業参加人員	人	220 人	200 人	500 人
		73.3 %	66.7 %	166.7 %
b 地域間交流事業参加人員	人	19 人	- 人	5 人
		38.0 %	- %	10.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
交流事業に対する市民参加の広がりを推進する必要がある
対応（改善点等）
交流事業の主体、内容、情報提供の在り方等について検討を行う

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

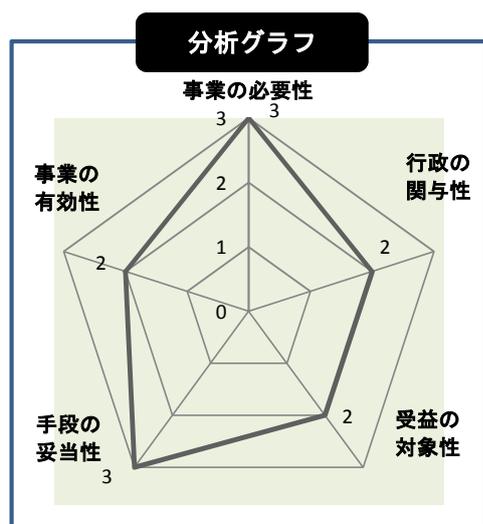
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		11,232	9,157	8,801	14,621
うち経常経費		11,232	9,157	8,801	14,621
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	19			
	一般財源	11,213	9,157	8,801	14,621
うち経常		11,213	9,157	8,801	14,621
事業費に係る人件費		2,972	2,987	3,066	3,440

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
事業内容の検討を行う

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 これまでの経緯実績等を踏まえると従来通り事業の継続を要する
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 国際交流協会など民間を母体とする組織が育ちつつある。現在は民間移行への過渡期であり、行政の支援を要す
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 国際交流の機会は、広く市民に公募を行っている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 継続的な交流事業を実施しているが、国際交流協会の増加や新たな動きなど広がりが見られない



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	さらに市民参加の広がりを推進するよう検討を行うこと